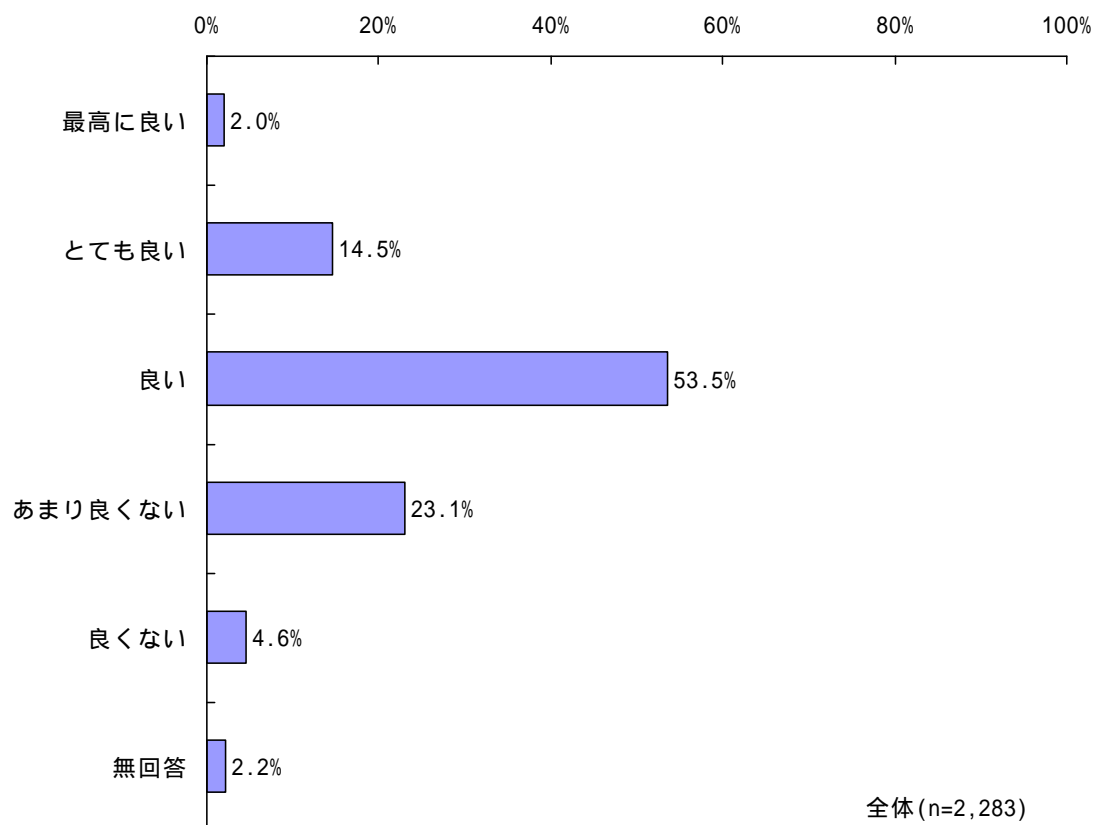


II 調査結果

1. 現在の健康状態

問5 あなたの現在の健康状態についてお聞きします。(はひとつ)



健康状態が「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)は7割

【全体結果】

健康状態は、「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)が70.0%で、「良くない」(あまり良くない, 良くない)が27.7%である。

【属性別結果】(図1参照)

地区別

「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)の割合が7割を超えているのは, 高い順から北区(75.3%), 東区(73.2%), 秋葉区(73.2%), 中央区(70.3%)である。一方, 「良くない」(あまり良くない, 良くない)の割合が高いのは, 江南区(32.0%), 西蒲区(31.8%)である。

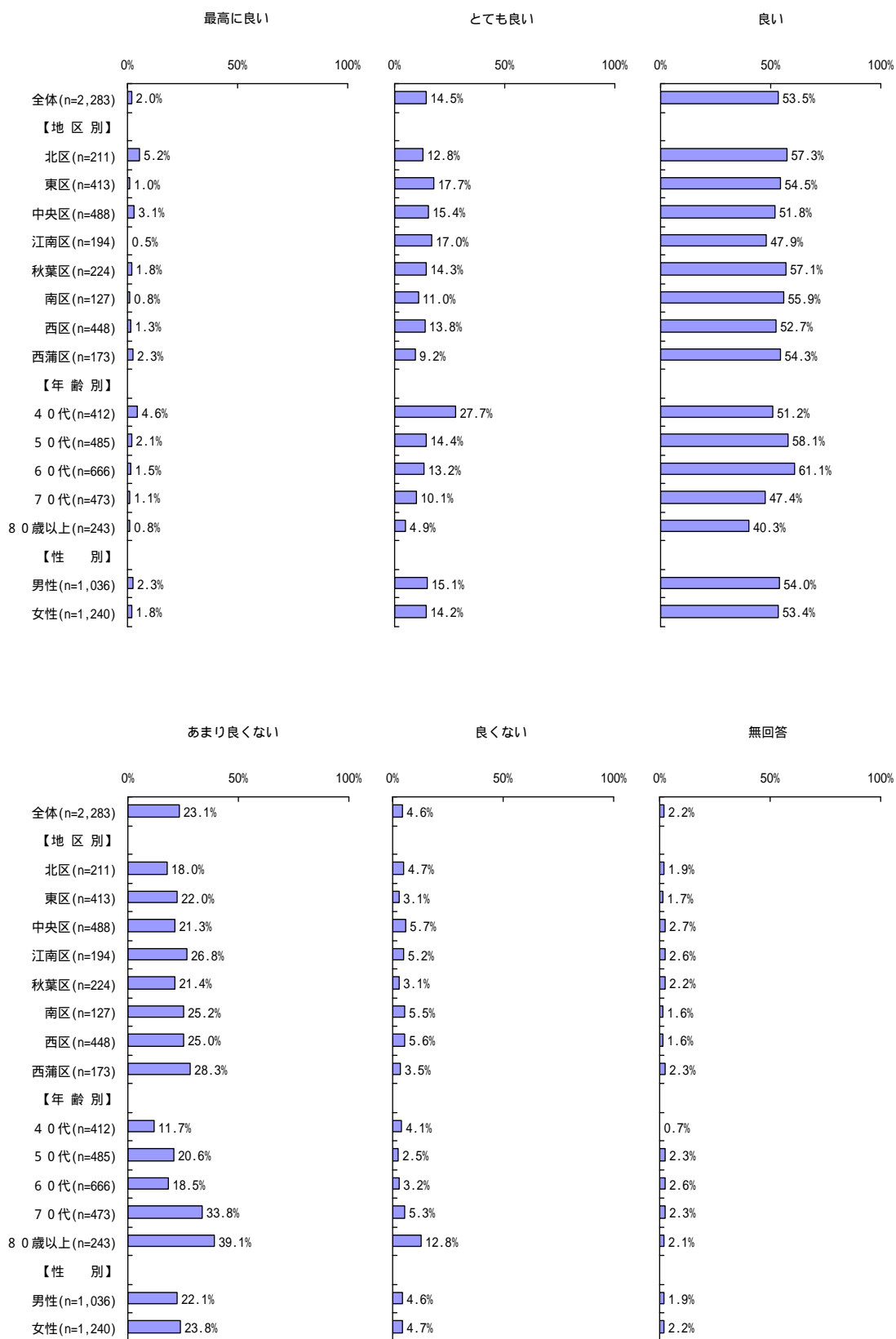
年齢別

「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)の割合は, 高い順に40代(83.5%), 60代(75.8%), 50代(74.6%)である。80歳以上は, 「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)の割合が46.0%, 「良くない」(あまり良くない, 良くない)の割合が51.9%であり, 80歳以上だけで後者の割合が前者のそれを上回っている。

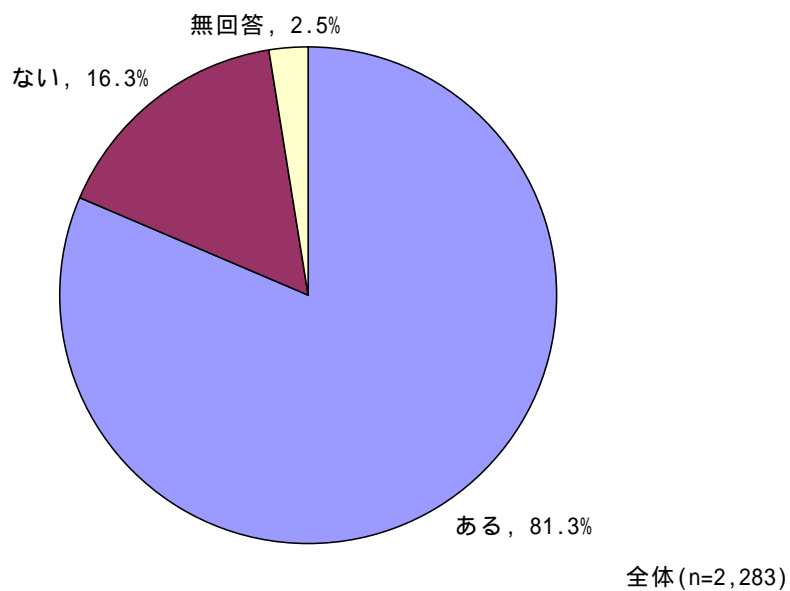
性別

「良い」(最高に良い, とても良い, 良い)の割合は, 男性の方が高く, 71.4%であり, 女性は69.4%である。一方, 「良くない」(あまり良くない, 良くない)の割合は, 男性が26.7%, 女性が28.5%である。

図1 現在の健康状態



問6 あなたは、家の近くに安心してすぐにかかれる医療機関がありますか。(はひとつ)



8割以上が安心してかかれる医療機関がある

【全体結果】

安心してかかれる医療機関が「ある」は81.3%であり、「ない」は16.3%である。

【属性別結果】(図2参照)

地区別

「ある」の割合が高いのは、中央区(84.2%)、江南区(84.0%)、東区(83.1%)、西区(83.0%)の順で8割を超えている。対して、南区(74.8%)、北区(74.4%)が低いですが、いずれの区も7割以上が「ある」と回答している。

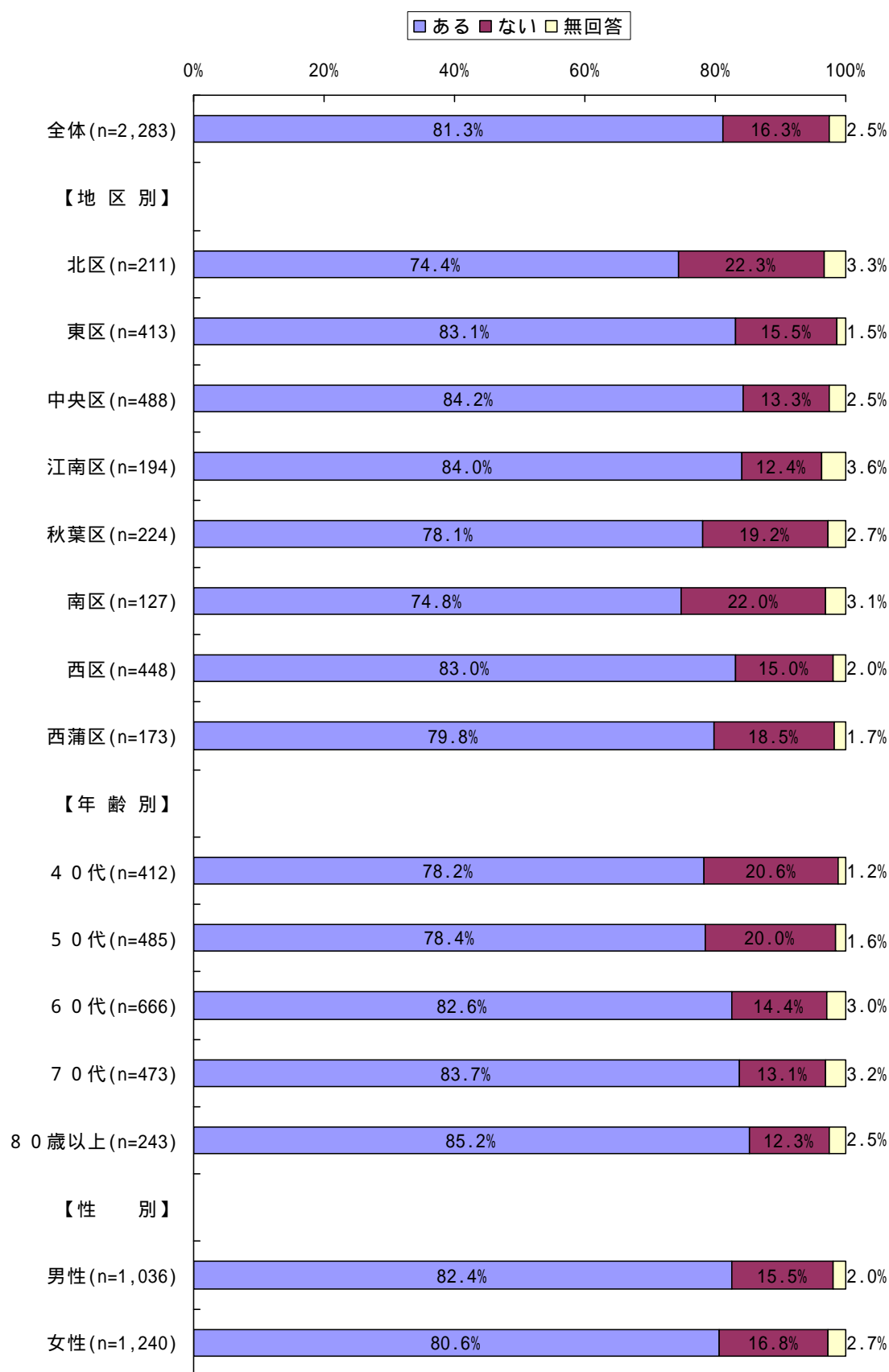
年齢別

年齢が高くなるにつれ、「ある」の割合が高く、80歳以上では85.2%である。

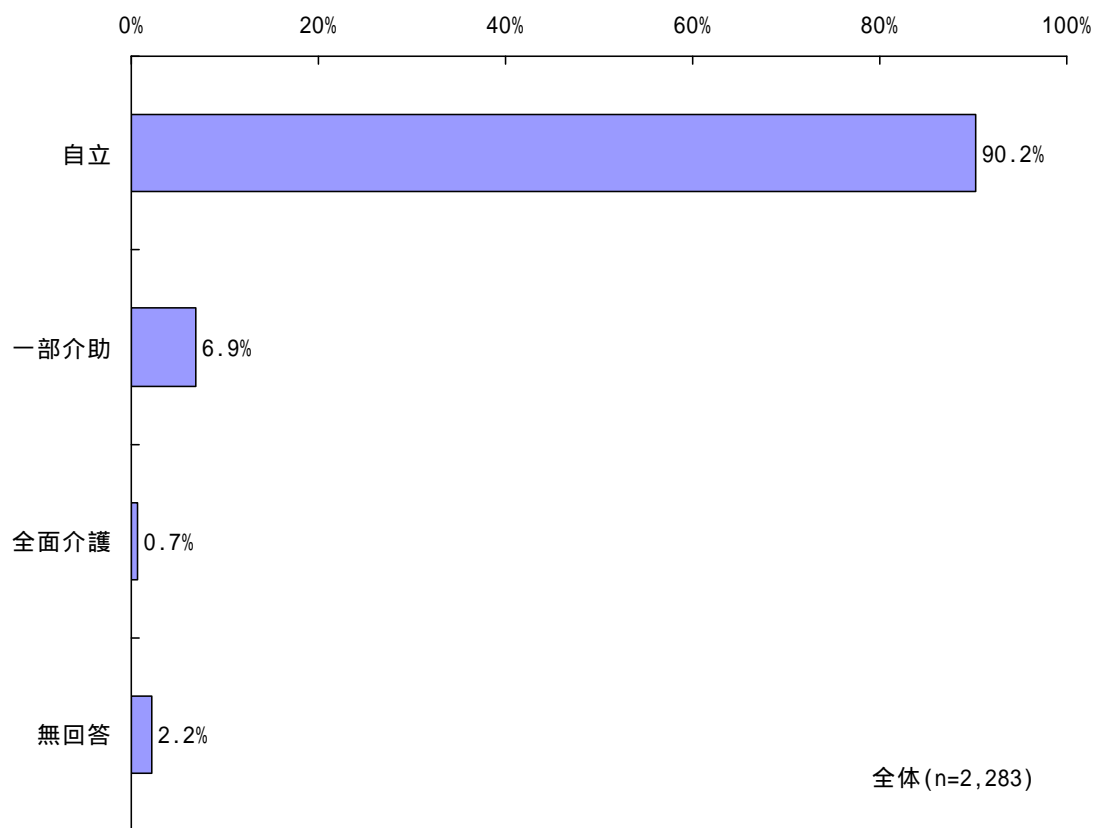
性別

「ある」の割合は、男性の方が高く、82.4%であり、女性は80.6%である。いずれも8割を超えている。

図2 安心してかけられる医療機関の有無



問7 あなたの現在の日常生活の状況についてお聞きします。(はひとつ)



日常生活「自立」が9割を占める

【全体結果】

日常生活では、食事や排泄、入浴などの基本的な生活動作に支障なしとする「自立」が90.2%、「一部介助」(6.9%)や「全面介護」(0.7%)で何らかの介助を要するものは7.6%である。

【属性別結果】(図3参照)

地区別

「自立」の割合が高いのは、東区(93.7%)、中央区(90.6%)で9割を超えている。いずれの区も、8割強以上であり、大きな差はない。

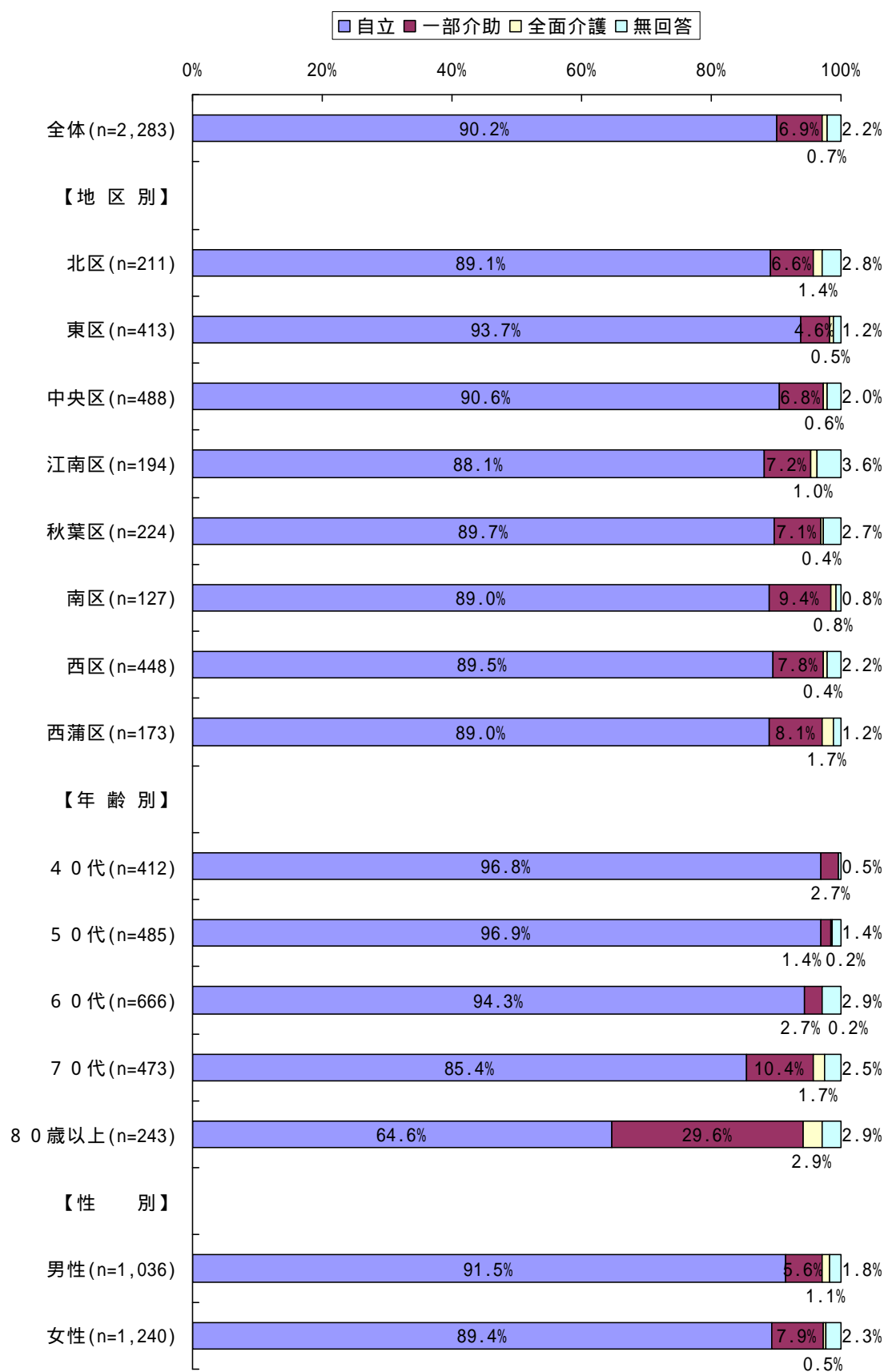
年齢別

「自立」の割合が高いのは、50代(96.9%)、40代(96.8%)、60代(94.3%)で9割を超えている。80歳以上では「自立」が64.6%で、「一部介助」が29.6%である。

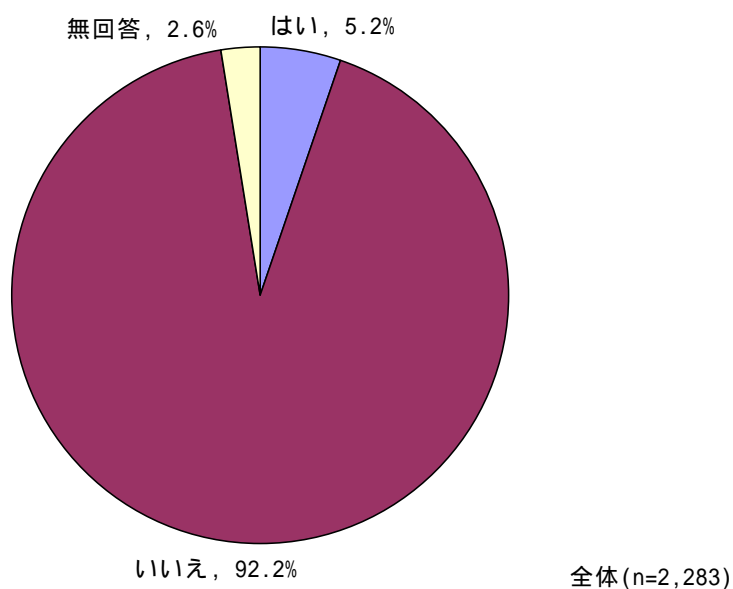
性別

「自立」の割合は、男性が91.5%で、女性(89.4%)より高く、9割を超えている。「一部介助」は女性の方が高く、7.9%である。

図3 現在の日常生活の状況



問8 - 1 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(はひとつ)



介護保険は、介護が必要になった高齢者に、訪問介護などの介護サービスを提供することで、高齢者やその家族を支援する仕組みです。

9割強が要介護認定を受けていない

【全体結果】

介護保険のサービスを利用するための要介護認定を受けていると回答したのは5.2%で、92.2%は要介護認定を受けていない。

【属性別結果】(図4 - 1 参照)

地区別

認定を受けている割合が高いのは、順に江南区(7.7%)、南区(7.1%)、西蒲区(6.9%)だが、いずれの区も1割未満である。一方、受けていない割合が高いのは、北区(95.3%)、東区(95.2%)、秋葉区(93.3%)である。江南区、南区以外は、受けていない割合が9割以上である。

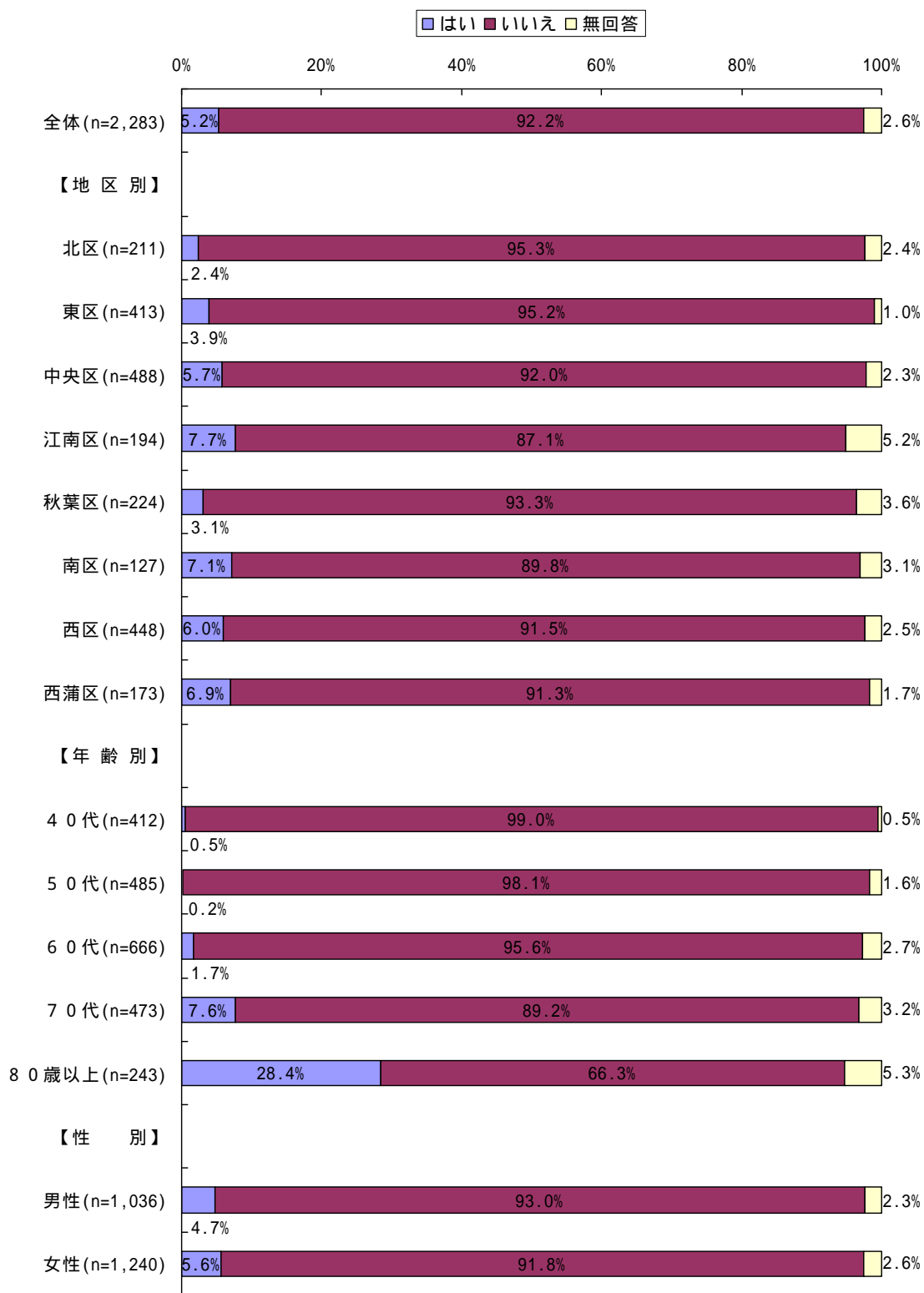
年齢別

40歳以上65歳未満は、介護保険第2号被保険者であるため、初老期認知症、脳血管疾患など老化に伴う病気(特定疾病)によって介護が必要となった場合に限り、介護保険のサービスを利用することができる。よって、40代、50代及び60代の一部が第2号被保険者での認定である。80歳以上では、要介護認定を受けている割合が高くなり、28.4%を占める。

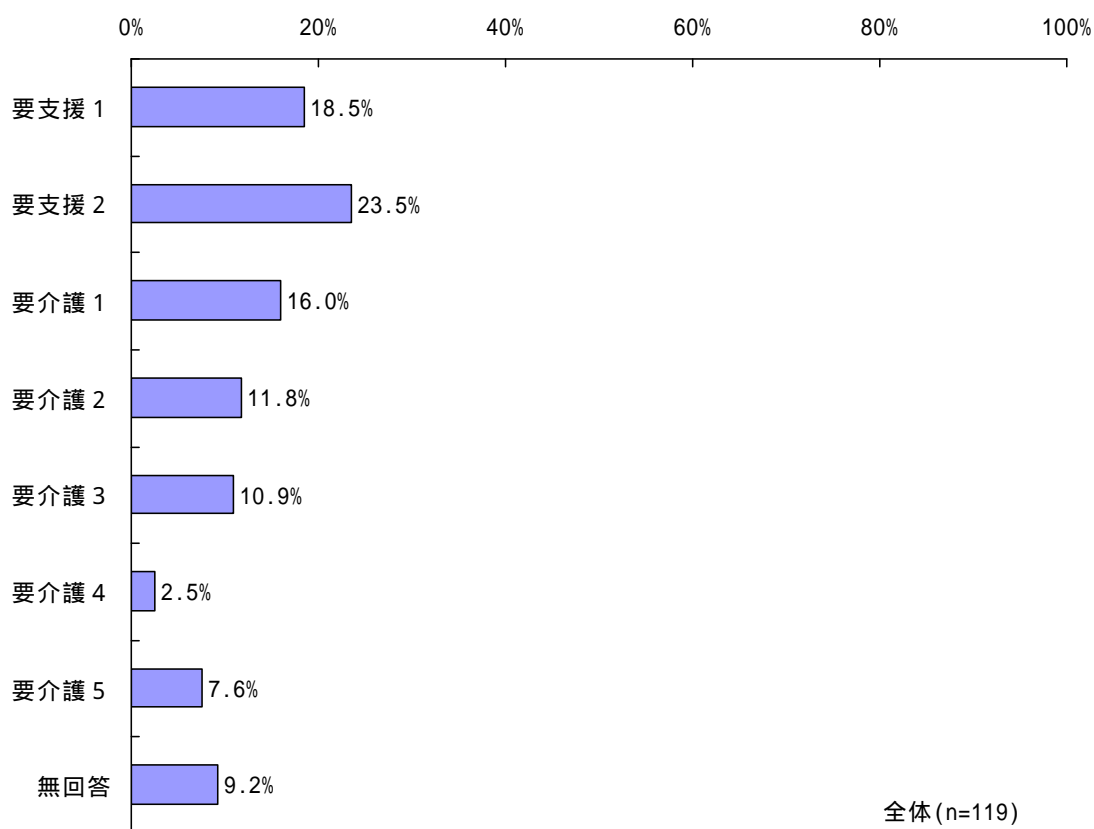
性別

認定を受けている割合は、女性の方が高く、5.6%であり、男性は4.7%である。

図4 - 1 介護保険の認定の有無



問8 - 2 問8 - 1で「はい」と答えた方にお聞きします。要介護度はいくつですか。
(はひとつ)



要介護認定者のうち「要支援」は4割強、「要介護」は5割弱

【全体結果】

介護予防のサービスを利用できる「要支援」(要支援1・2)は42.0%であり、介護サービスを利用できる「要介護」(要介護1～5)は48.7%である。

要介護認定者のうち、「要支援2」が最も高く23.5%、次いで「要支援1」が18.5%、「要介護1」が16.0%で、最も介護度が高い「要介護5」は7.6%である。

【属性別結果】(図4 - 2 参照)

地区別

「要支援」(要支援1・2)の割合が高いのは、北区が60.0%で、次いで秋葉区が57.2%である。「要介護」(要介護1～5)は、南区が一番高く、55.5%で、次いで中央区が53.6%である。

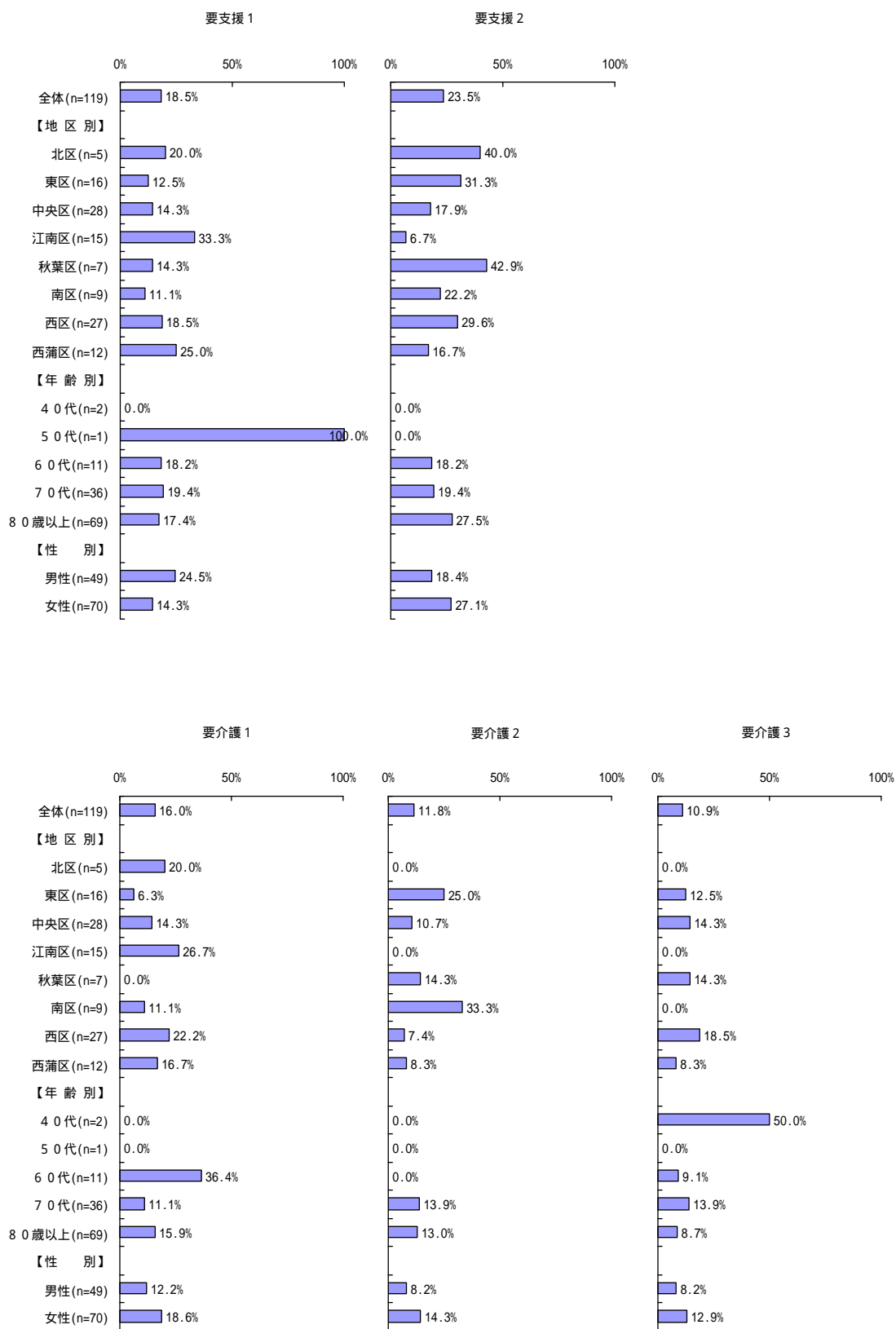
年齢別

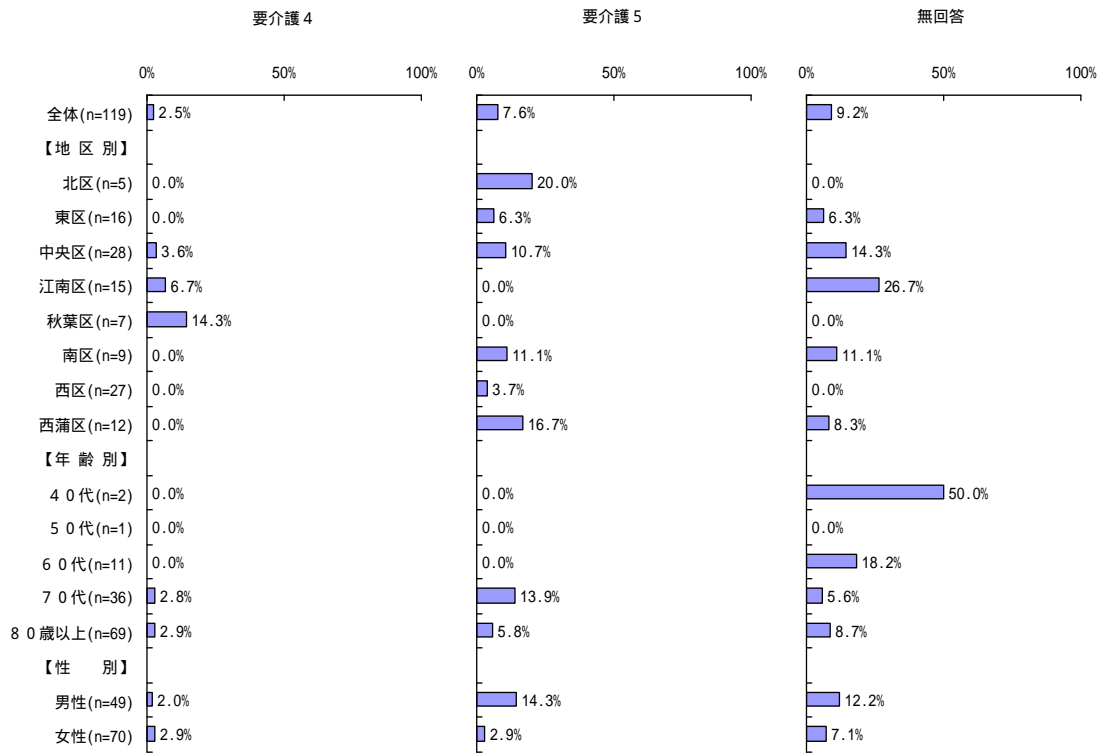
40代、50代及び60代の一部は、介護保険第2号被保険者であり、要介護認定を受けている者(母数)が非常に少ないため、介護度別の割合は読み取れない。80歳以上では、「要支援2」が最も多く27.5%、次いで「要支援1」が17.4%で、合わせて「要支援」が44.9%、要介護1～5の「要介護」が46.3%である。

性別

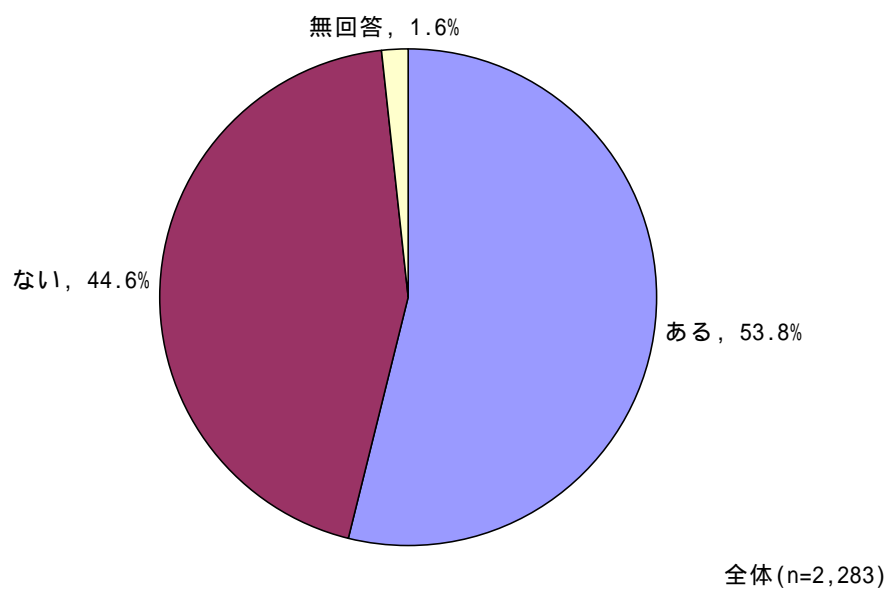
要支援1及び要介護5の割合が高いのは、男性で、要介護5については、男性が14.3%、女性が2.9%で、男性は女性の約5倍である。

図 4 - 2 介護保険の要介護度





問9 - 1 あなたは、現在治療中の疾患がありますか。(はひとつ)



半数以上が治療中の疾患がある

【全体結果】

現在治療中の疾患が「ある」は、半数以上の53.8%であり、「ない」は44.6%である。

【属性別結果】(図5 - 1 参照)

地区別

「ある」の割合が高いのは、西蒲区で59.0%であり、次いで西区が57.4%である。いずれの区も半数以上を占める。

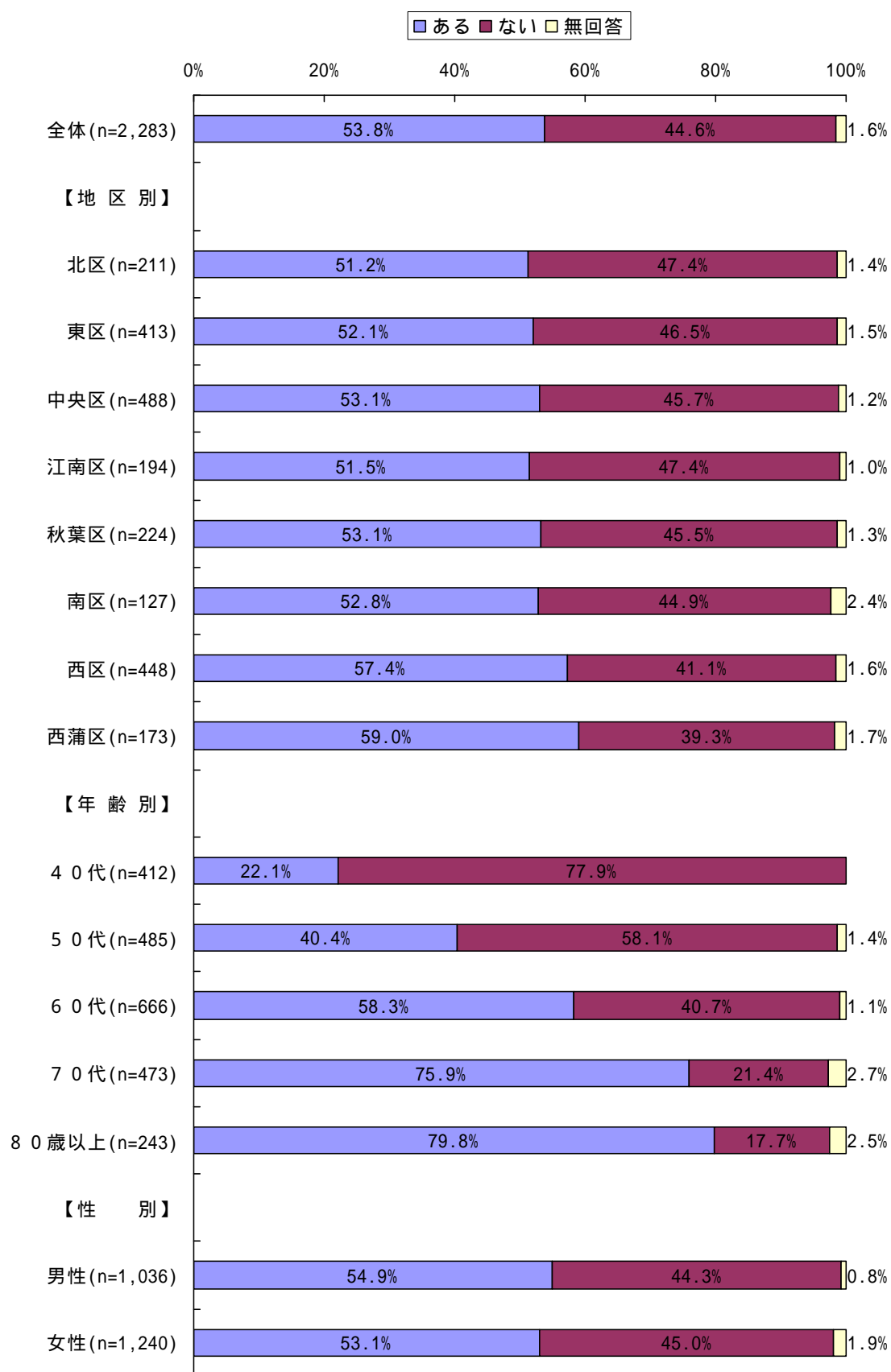
年齢別

「ある」の割合は、年齢が高くなるにつれ高くなり、70歳以上は7割を超え、80歳以上は約8割である。

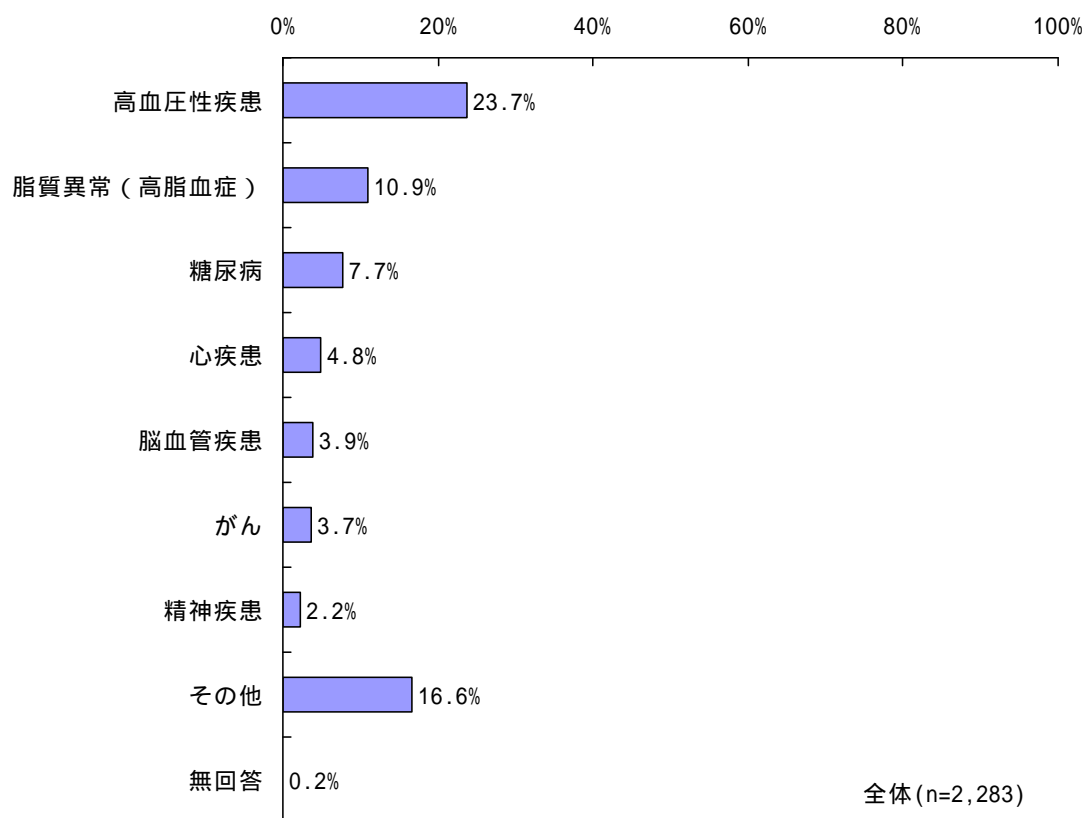
性別

「ある」の割合は、男女とも半数を超え、男性は54.9%、女性は53.1%である。

図5 - 1 現在治療中の疾患の有無



問9 - 2 問9 - 1で「ある」と答えた方にお聞きします。該当する疾患名はどれですか。
(はいくつでも)



約4分の1が「高血圧性疾患」で治療中

【全体結果】

「高血圧性疾患」で治療中が最も多く、全回答者に占める割合は23.7%である。次いで、「脂質異常」(10.9%)、「糖尿病」(7.7%)と続く。

生活習慣病に起因し、日本人の3大死因ともなっている「がん」、「脳血管疾患」、「心疾患」はそれぞれ3.7%、3.9%、4.8%である。また、「精神疾患」で治療中は2.2%である。

【属性別結果】(図5 - 2 参照)

地区別

いずれの区も、「高血圧性疾患」が最も多く、2割前後を占める。次いで、「脂質異常」もしくは「糖尿病」が続く。北区は、「心疾患」の割合が低く、南区は、「糖尿病」の割合が高い。

年齢別

「脂質異常」、「精神疾患」以外は、年齢が高くなるにつれ、増加の傾向にある。「脂質異常」は、60代が最も高く、次いで、70代、50代の順である。また、「精神疾患」は、40代が最も高く、3.4%であり、次いで、70代が3.0%である。

性別

「脂質異常」、「精神疾患」以外は、全ての疾患で男性が女性を上回り、男女差が最も大きいものは「糖尿病」で男性が10.9%、女性が5.0%である。

図5 - 2 疾患名

